

地球温暖化防止 シンポジウム

COOL
CHOICE

「地球温暖化によって日本でもゲリラ豪雨や真夏日が増加するなど、私たちの日々の生活に様々な影響が出ています。地球温暖化防止は全世界で取り組む課題ではありますが、その対策のためには様々な世代が連携して、家庭や地域で日常的に行動することが必要不可欠です。

この度、地球温暖化についてその現状や対策を学ぶ講演や山形県内の高校生の取組事例を聞くシンポジウムを開催します。また、第2部では、質疑や意見交換、交流を行い、山形県内での地球温暖化対策の推進を目指す機会としたいと考えています。

日時

令和2年1月12日(日) 13時30分～17時00分
(13:00開場)

場所

山形国際交流プラザ
山形ビッグウイング 2階交流サロン
(山形市平久保100番地)

参加
無料
定員100名

内容

第1部 基調講演「気候の危機と私たちの未来」

講師／国立環境研究所 地球環境研究センター 副研究センター長 江守正多氏

事例紹介「山形の高校生の取組み」

・「再生可能エネルギーを利用して、
環境保全に全力で取り組む」

発表者／酒田光陵高等学校「環境保全隊」

・「流水都市～脱ヒートアイランドのために～」

発表者／山形東高探究部「流水で街づくりシティ班」

・「SDGsで広がる協働の和～人と人のつながり～」

発表者／創学館高等学校 モノづくり倶楽部

・「サボニウス型風車の形による発電量の変化」

発表者／米沢興譲館高等学校

第2部

質疑応答・意見交換

第1部出演者によるグループに分かれての質疑応答、意見交換を行います。グループに分かれて少人数になることで、第1部では聞くことができなかった話題が出るかも!?

シンポジウムに参加ご希望の方は、裏面の内容を事務局までご連絡ください。

なお、定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

■主催 環境省東北地方環境事務所

■共催 山形県地球温暖化防止活動推進センター

■実施団体 特定非営利活動法人環境ネットやまがた

■後援 山形県



基調講演 講師紹介 **江守正多氏**

1970年、神奈川県に生まれる。1997年に東京大学大学院総合文化研究科博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に入所。「地球シミュレータ」の現場で研究を行うために2001年に地球フロンティア研究システムへ出向し、2004年に復職した後、地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長等を経て、2011年より同気候変動リスク評価研究室長、2018年より同副研究センター長(室長兼務)。地球温暖化研究プログラム総括を経て、2016年より低炭素研究プログラム総括、社会対話・協働推進オフィス代表(兼務)。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次・第6次評価報告書主執筆者。

著書に「地球温暖化の予測は『正しい』か?—不確かな未来に科学が挑む」、共著書に「温暖化論のホンネ—『脅威論』と『懐疑論』を超えて」「気候大異変 地球シミュレータの警告」等がある。2012年度日本気象学会堀内賞受賞。



参加をご希望の方は、下記の申込書の内容を、FAX、メール、郵送、電話のいずれかの方法でご連絡ください。

問合せ・申込先

特定非営利活動法人 **環境ネットやまがた**

住所 山形市上桜田3-2-37
 電話 023-679-3340
 FAX 023-679-3389
 E-mail ondanka@eny.jp

1月12日地球温暖化防止シンポジウム 参加申込書

〈添書不要〉事務局(特定非営利活動法人環境ネットやまがた)行き
 [FAX] 023-679-3389 [E-mail] ondanka@eny.jp

参加者氏名	参加プログラム ※参加を希望するものに○をつけてください。両方参加いただくことも可能です。		第1部	第2部
			第1部	第2部
住所				
電話			F A X	
所属 (会社・団体名)	(あればご記入ください。)			

※ご記入いただいた情報は、本業務にのみ使用するものであり、適切に取り扱います。